

## 第12回マイクロマシンサミット報告

第12回マイクロマシンサミットが、4月27日（木）から29日（土）の3日間、黄砂で霞む中国・北京近郊のホテルJIU HUA SPA & RESORTにて開催されました。

今回は、清華大学がホストを務め、オーストラリア、カナダ、中国、フランス、ドイツ、インド、日本、韓国、シンガポール、スイス、台湾、イギリス、米国、ベネルックス（ベルギー、オランダ、ルクセンブルク）、EU、地中海沿岸地域（イタリア、スペイン、ポルトガル、ギリシャ）、ノルディック（デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド）の17の国・地域から88名のデリゲートおよびオブザーバーの方々の参加がありました。日本からは、隣国の中国で開催されたこともあって、東京大学下山勲教授をチーフデリゲートとして、海外で開催されたサミットとしてはこれまでで最も多い116名の方々が参加されました。

会議は27日と28日の2日間に清華大学のProf. Zhaoying Zhouをチェアマンとして行われ、6つセッション

Country/Region Review  
Strategy & Cooperation,  
Infrastructures & Education  
Market, Industrialization & Standardization  
To Nano-Technology  
Innovative Technology

において54件と多くの発表がなされました。

日本からは5件の発表があり、  
セッション

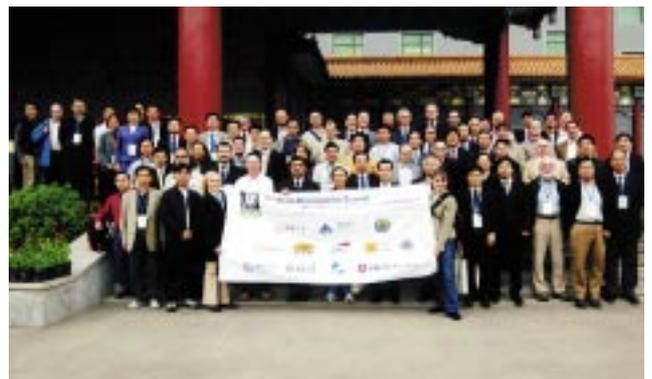
- ・東京大学下山勲教授より「Fine MEMS - upcoming MEMS project - 」と題し、今年度より開始される高集積・複合MEMS製造技術開発プロジェクトの概要に関する発表  
セッション
- ・マイクロマシンセンター専務理事青柳桂一より「Towards advancement of MEMS industry in Japan」と題し、この4月に発足したMEMS協議会を中心に当センターの活動に関する発表  
のセッション
- ・各企業のMEMSおよびナノテクノロジーへの取り組みに関する発表
- ・オリンパス株式会社取締役専務執行役員寺田昌章氏より「Nano-Bio MEMS technology for Medical Application」
- ・オムロン株式会社執行役員常務今仲行一氏より「Micro and Nano technology in Japan - Example of OMRON Corporation - 」
- ・三菱電機株式会社先端技術総合研究所映像技術部門統轄部長堤和彦氏より「Micro/Nano technologies at Mitsubishi Electric Corporation」

日本の発表はいずれも内容的に優れ、海外の参加者から非常に好評であり、サミットの永久事務局としてのわが国の立場を各国に再認識させることができたと思われまます。

両日の会議終了後の夜には、照明で美しく浮かび上がる万里の長城と天安門を眺めるツアーも企画され、参加者間の懇親を深め、充実した2日間を送ることができました。

29日にはテクニカルツアーが行われ、清華大学と清華大学によりサポートされているバイオベンチャーCapital Biochip Corporationの見学が行われ、成功裏にサミットは閉会しました。

来年の第13回マイクロマシンサミットは4月26日から28日にイタリアのベネチアで開催されることが決まりました。さらに来年以降も韓国、カナダ、イギリス、インドが開催を希望しており、今後、サミットがMEMSおよびナノテクノロジーに関する国際交流の場として益々活発化することが期待され、大いに活用して頂きたいと思います。



サミット参加者：会場のJIU HUA SPA & RESORT前



チーフデリゲート：東京大学 下山勲教授の発表

<http://www.mmc.or.jp/kokusai/summit/summit.html>